

路面カラー表示と道路案内標識の連携により安全性が向上

- 黒埼ICは、上り線の複雑なIC構造に加え、道路案内標識も分かりにくく、ランプ誤進入車の無理な車線変更に伴う追突事故や錯綜による死傷事故が、6年間で16件発生している。
- このため、安全な交通誘導を目的として、路面カラー表示と道路案内標識を連携させた対策を実施した。
- 対策後のモバイルアンケート調査の結果、黒埼IC利用者の約9割の方から誘導性・安全性向上について評価された。
- 対策後の1年間(平成21年)の死傷事故件数は0件に減少した。

■ 現状の問題点

【300m手前の案内標識】

【分岐部の門型標識】

問題①	案内標識が、車線変更に余裕があるかのような誤解を招いている。
問題②	北陸道「新潟西IC」を直接指して案内しているため、北陸道への案内と誤解する。
問題③	分岐点の門型標識に設置されている案内標識の枚数が多い。
問題④	進行方向別の車線数と標識枚数が不一致。

■ 対策案

【300m手前の案内標識】

【分岐部の門型標識】

対策①	高架橋手前で分岐することを適切に表現、かつ路面と同じ色に合わせた。
対策②	「新潟西IC」の表示位置の見直し、かつ路面と同じ色に合わせた。
対策③	分岐点の門型標識に設置されている案内標識を集約した。
対策④	車線数と案内標識の矢印の位置を合わせた。

